

浜からのメッセージ  
地域に広がる私達の簡素化運動  
～シンポジウムで確かな手応え～

富島漁協婦人部

部長 島田 元子

1. 地域の概況

県北部の中核都市日向市は、人口約59,000人、日豊海岸国定公園の美しい海岸線に縁取られた街で、プロ野球近鉄球団のキャンプ地としても知られている。

なお、私達の住む細島は、市の東部に位置し、細島港は天然の良港で、古くから東九州の海上交通の要として栄えてきた。

2. 漁業の概要

所属する富島漁協は、正組合員293名、准組合員81名、主な漁業は、鮪延縄、小型延縄、曳縄、定置網等で、平成10年度の組合員水揚げは、25億11百万円と県内では中位にランクされる漁協である。

3. 研究グループの組織と運営

婦人部は、昭和30年7月に設立され、現在婦人部員数214名、部長1名、副部長2名、監事1名の役員と班長31名で構成、年1回の定期総会と、箱貯金を持参して集まる毎月16日の班長以上の定例会を開催している。

婦人部運動は、本県漁婦連が提唱する「婦人部5つの運動」を中心に、歴代の部長を始めとする役員が知恵をしぼり、色々苦勞して取り組んできた。毎月23日、市の保健婦の協力を得て開催している「健康教室」と、年間計画を作成し毎月第4火曜日を定例日として開催する「家庭管理学級」は、すでに15年以上も継続している活動行事である。

4. 研究・実践活動課題選定の動機

平成6年6月、私達4人が新役員に選任された時、現状を踏まえて、今後の婦人部運営について色々と話し合った。

その結果、部員の声をもう一度掘り起こし、みんなの総意とする重点推進事項を決めたらということになり、アンケート調査を実施することにした。

5. 研究・実践活動状況及び効果

内容は私達が以前から身近な問題として取り組んでいる「冠婚葬祭の簡素化」「合成洗剤追放」「家計管理」「健康増進」「お返し廃止」の5項目の中から特に重要だと思う項目を2つ回答してもらうことにした。部員214名中、回収168名、トップ回答

は「冠婚葬祭の簡素化」123名、次いで「お返し廃止」117名、3番目が「健康増進」39名という結果になった。

この結果を受けて、その年の8月に臨時総会を開催、あれもこれもでは長続きしないということで、「冠婚葬祭の簡素化」と「お返し廃止」を今後の婦人部の重点推進事項として、活動を強化していくことを決議、更にこの時、諸行事でやり取りする金額の取り決めを提案、金額を提示したアンケート用紙を再度配布し協力をお願いした。回収は198名。

その結果、結婚式、進水式は10,000円、葬式5,000円、法事3,000円、初盆、お見舞、節句祝はそれぞれ2,000円、100ヶ日のすし配りは止めるということが部員多数の考えであることが判明した。

「100ヶ日のすし配り」とは、細島では葬式の参列者に、100ヶ日を迎えた時、すしを作って配る風習があるが、このことも簡素化したらという意見が多かったのである。

この集計結果を婦人部だよりにまとめ、9月の班長定例会で最後の確認をし、全部員への配布を依頼すると共に、9月からの実施を呼びかけた。

更に、私達役員は、地区内の他団体にも協力を依頼する為、まず、細島地区9地区の区長宅をお願いに回ると共に、地域婦人会の役員との話し合いを申し入れ、賛同を募ったところ双方とも快くご理解頂き、細島全体で少しでも改善していきましようとの協力を約束された。

お願いに行った後日早々に、私達の取り組みへの協力依頼の地区回覧板が回ってきた。私達の申し合わせ事項が地域を駆け回ったのである。ホッとすると同時に口火を切った者として、強い責任を感じたのは決して私一人ではなかったと思う。

しかし、取り決めたからといってもすぐに守られるものではない。

3月、5月の節句時期には、初節句のお宅に役員で個別訪問し「お返しはしないで下さいね」とお願いに回ったり、葬式の時などは、班長に連絡をとって周知徹底を依頼したこともあった。

又、8月と12月の御中元や御歳暮の季節には、金額にとらわれずに、心のこもった物を贈答する様に班長定例会で話し合ったり、婦人部だよりでも呼びかけて取り組んで来た。

翌年2月、30代から60代までの部員数名に依頼して、申し合わせをする以前と、改善後の交際費の金額を調べてもらったところ、全体では、随分と差が出ていることが判り誰もが驚いた。と同時に交際費の出費がいかに大きいか改めて知るところもなった。

こうした私達の、冠婚葬祭の簡素化運動を市の広報でも取り上げてもらえないかと、日向市企画課までお願いに出掛けたこともあった。この時は、金額の取り決めのことは、行政ではタッチできないが、活動事例としては差し支えないということで、平成8年4月号の広報ひゅうが「がんばっちょるよー」の欄に、簡素化への金額事例も記載され、あなたの地域でも考えてみませんかと呼びかける私達の活動内容が紹介された。コンパクトなものであったが、市民に漁協婦人部としての取り組みをアピールする絶好の機会になったと喜んだものである。

丁度この時期、平成8年4月、私達の婦人部は、宮崎県貯蓄推進委員会より、貯蓄生活設計普及地区として、3年間の指定を受けることになった。これまでの家庭管理学級や冠婚葬祭簡素化等の取り組みが目にとまり、日向市の推薦を受けてのことである。その年の総会で報告すると共に、婦人部運動への一層の協力、参加を呼びかけた。

その後、1年が経過した平成9年、お見舞いのお返しや、100ケ日のすし配り等は徹底されつつあるが、申し合わせ金額の再検討は必要ないか、5月の総会に提案した。色々意見が出たが、結局、葬式の申し合わせ金額を5,000円から、10,000円に改正し、あとの金額は据え置きということで現在に至っている。

貯蓄生活設計普及地区としての指定を受け活動することにより年間10万円の活動運営費が支援されることになった。運営費は、家庭管理学級の諸経費に使用したりもしたが、何かもう少し有効な使い道はないものかと考えていた。平成10年になって、今まで私達が行ってきた冠婚葬祭の簡素化やお返し廃止運動について、広く一般の人の意見も聞ける様なシンポジウムを開催したらということになった。タイトルは、「生活設計シンポジウム」と決め、自分達だけで取り組むことにした。

しかし、ここからが大変であった。何をどうしたらいいのか全く見当もつかない。農業改良普及センターや漁協職員の知恵を借りながら、何回となく役員の会合を重ね、ようやく案がまとまったのが平成11年1月半ばの事であった。

パネルディスカッションをし、事例発表をしてもらい、その後手作りの弁当を食べてもらいながら、部員のアトラクションでもてなし、最後はバザーで締めくくろうという事になった。

パネラーや事例発表者の選定、コーディネーターや来賓出席者への依頼と案内状、全戸に配布するチラシや大会資料作り、バザーに協力してもらい品物集め、婦人部として提供する干物作りやアトラクションの踊りの練習と、正に目の回る忙しさであった。

パネルディスカッションのテーマは「これからの冠婚葬祭のあり方について」とし、パネラーには、細島庄手向地区区長、地域婦人会会長、細島小学校PTA会長、富島漁協理事、婦人部より1名と、若妻会より1名の6名に依頼、コーディネーターとしては、貯蓄生活設計推進員でもあり、消費生活アドバイザーとしても活躍中の延岡市の大谷英子さんをお願いすることにした。

平成11年3月27日、シンポジウム当日。何日も何日もこの日の為に準備をしてきた役員や班長の心配をよそに、部員をはじめ地域の方々150名程の出席者を得て、盛会のうちに開会することができた。

パネルディスカッションでは、

- ・一地区だけでは効果は上がらない、とりあえず、細島全域だけでも取り組んでもらいたい。
- ・区長公民館連合会でも簡素化を努力目標にあげているので、これからは力を入れたい。
- ・金額で相手の心を計るのではなく言葉で表す。
- ・祝い事では招待者の人数を削減した方が良いのではないか。
- ・簡素化運動の主旨を入れた文面を祝儀袋などに入れ協力を願う。
- ・ミエをはるのは人と比べるからである。人と比べるところに豊かさはない。人とは

損得ぬきで付き合うべきだ。

など、6人のパネラーからはその人なりの貴重な意見を発表してもらい、改めて簡素化ということの奥の深さを痛感した。

又、清正地区のさつき会の方には、以前、地区の回覧板で、私達の簡素化運動の事を知り、その後自分達もお返しはしない様に呼びかける文面をのし袋に入れて実行しているとの大変ありがたい事例発表をして頂くことが出来た。又、「私達婦人部は家でねむっている大漁旗をリフォームし、ハッピージャンパーを作り、色々なイベントで活用している」と、自分達で作ったものを実際に身につけてのファッションショーを披露し、注目を集めた。

午後の部のバザーには、フリーマーケットの方の参加もありと全ての事が大盛況の内に終了することが出来た。

何から何まで手作りで初めてづくしの催しではあったが、大きな収穫があった。

一つの目標に向かってみんなが、自分の役割を守り準備した充実感、部員との絆の深まり、一般の人との結びつき、そして、何事も力を合わせれば出来ないことはないという自信を私達みんなに与えてくれたシンポジウムであった。

何よりも嬉しかったのは、私達が開催したシンポジウムの事が地区外にも反響を呼び、細島の対岸に当たる畑浦地区の方から、地区の会合で簡素化の取り決めをし、実行することになったとの便りが届いた事である。

私達のメッセージが理解され共感を呼び、確かな手応えとなって返ってきた。深い感動を覚えると共に、漁協婦人部としても更なる前進をしなくてはと改めて決意させられた次第である。

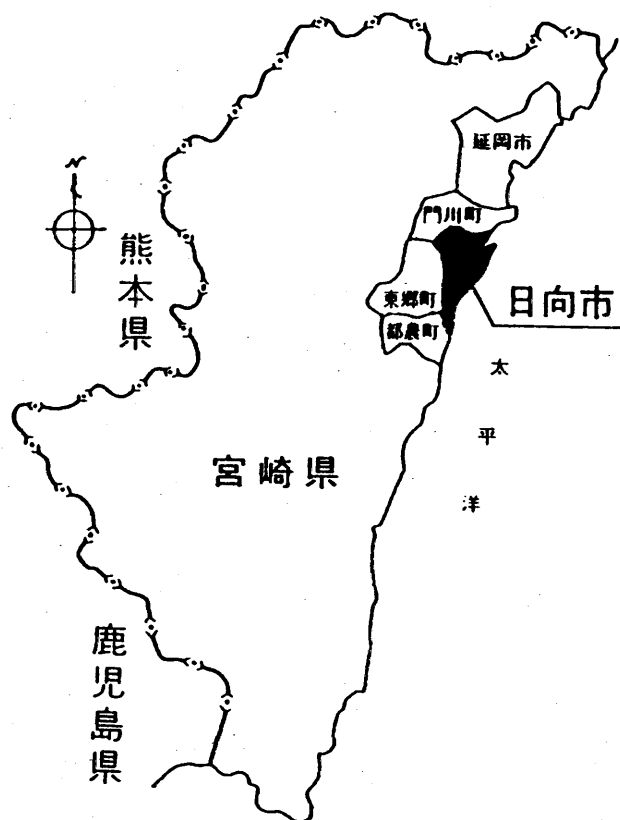
私達が簡素化運動の再強化を申し合わせて、今年で5年が経過した。

「100ケ日のすし配り」は、今では全く見られないし、お返し廃止については、以前よりお返し募金、いわゆるお返しに代えて、「漁船海難遺児募金」への協力を呼びかけているが、年間30件近い募金が寄せられ、件数的には県下でも多い婦人部だと聞いており、それなりの評価は出来るのではないかと考えている。

## 6. 今後の課題

しかし、冠婚葬祭と言えば人生の大きな行事でもあり、私達が生活する上で避けては通れず、人や地域との付き合いは一生のものである。こうした中で簡素化運動を継続していくことは、非常に難しいことだとは思いますが、私達はこれからも「心のお付き合い」をモットーに地道ながらも気長な活動を続けたいと思っている。

位置図



◇日向市の人口（平成11年9月現在）

総数 58,964人  
 男性 27,913人  
 女性 31,051人  
 世帯数 21,717戸

・細島地区の状況

総数 2,368人  
 男性 1,093人  
 女性 1,275人  
 世帯数 872戸  
 (うち漁家戸数 232戸)

◇富島漁協の状況（平成10年度末現在）

組合員 正293 准81 計374名  
 水揚 2,511百万円  
 貯金 2,407百万円  
 貸付金 1,788百万円

◇婦人部員の状況

(人)

20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才以上	計
3	20	32	38	73	48	214

平成10年度家庭管理学級実施事項  
(貯蓄生活設計普及地区活動内容)

月 日	活 動 内 容	備 考
4月48日	開講式 生活設計と家計簿記帳について ごきぶりダンゴづくり	東臼杵南部普及センター 漁協婦人部役員
5月26日	加工実習 ドレッシング、めんつゆ	漁協婦人部役員
6月23日	視察研修 美々津歴史町並み 日向地区衛生施設組合清掃センター (ゴミ焼却場他)	日向市社会教育課 環境保険課
7月7日	料理講習 シイラうどん	東臼杵農林振興局
9月22日	金融ビッグバンについて	宮崎県信漁連
10月31日	健康づくりとレクリエーション (グランドゴルフ)	漁協婦人部役員
11月11日	農山漁村の交流 (東臼杵南部地区農山漁村いきいき女性交流大会 参加と発表) ・事例発表“わが家の家計管理の工夫” ・大漁旗、こいのぼりのリフォーム	東臼杵南部管内
12月15日	東臼杵南部農山漁村くらし研究グループ交換会 参加 ・農山漁村の女性の知っておきたい法律問題 (財産相続、土地登記他)	公証人役場 公証人
12月26日	生け花教室	生け花教師
1月26日	骨粗鬆症について 骨粗鬆症予防の料理講習	日向市保健婦
2月23日	九電電気教室 小物づくり	九電ホーム サービス員
3月27日	生活設計シンポジウム (富島漁協婦人部簡素化運動推進シンポジウム) パネルディスカッション バザー	漁協婦人部役員

## アンケートにお答え下さい

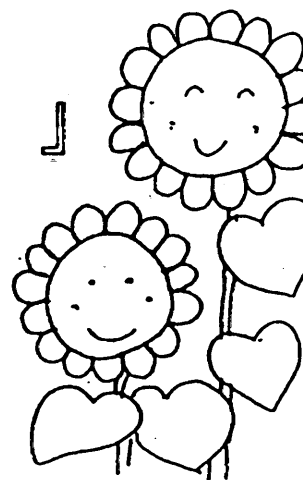
私達婦人部では、皆様に婦人部活動に積極参加を呼び掛けています。次のアンケートの中から2つだけ選んで〇で囲んで下さい。

- 1 冠婚葬祭の簡素化（交際費拡大防止）
- 2 合成洗剤追放運動
- 3 家計管理の促進（不漁に備えて）
- 4 健康増進（健康で心にゆとりを持つ）
- 5 お返し廃止運動への積極参加
- 6 その他

( )

御意見があれば何でもお聞かせ下さい

『



## アンケートに御協力下さい

先日新聞でお知らせ致しました婦人部臨時総会の議案（冠婚葬祭の簡素化・お返し廃止）について一応の結果は出ておりましたが、出席者が不十分な事や自分一人では返答できないと言う意見があり、再アンケートをとる事と致しました。  
皆様の御協力をお願い致します。

希望する方に0を付けて下さい。

### 冠婚葬祭の簡素化について

- |                   |        |       |        |
|-------------------|--------|-------|--------|
| ① 結婚式             | 10000円 | 5000円 | その他（ ） |
| ② 進水式             | 10000円 | 5000円 | その他（ ） |
| ③ 葬式              | 10000円 | 5000円 | その他（ ） |
| ④ 初盆              | 2000円  | 3000円 | その他（ ） |
| ⑤ 法事<br>(料理だけとする) | 2000円  | 3000円 | その他（ ） |

### お返し廃止について

- |            |       |       |        |
|------------|-------|-------|--------|
| ① 節句のお祝い   | 2000円 | 3000円 | その他（ ） |
| ② 御見舞      | 2000円 | 3000円 | その他（ ） |
| ③ 百ヶ日のすし配り | 止める   | 止めない  | その他（ ） |

# 平成六年九月 婦人部だより



9/27 家庭管理学級で講演がおります。自分達のためにやる良い話しかありませんので多数御参加下さい。

9/26 婦人部研修旅行の帰切日です。参加される方は早目に申込み下さい。

七、八、九月にかけて、班長はもとより、部員さんには何かと忙しい思いをさせてすみませんでした。やとアンケートの集計結果が出ましたので、早速、叱咤の三長さんや婦人会長さんに御協力をお願いを申し出ました。如、え持ちよく御理解頂き、細島全体で取り組んで行く事を約束され、同質板やコピー用紙の配布等して頂きました。

三長さん、婦人会の役員さん方との会合や文章作り等で婦人部の方が一番最後になりましたが、アンケートの結果をお知らせ致します。

1 結婚式	10000円	151名	5 法事	3000円	143名
	5000円	24名	(料理だけとする)		
	20000円	9名		2000円	34名
	15000円	2名		10000円	2名
				5000円	13名
2 進水式	10000円	96名	6 御見舞	3000円	81名
	5000円	83名		2000円	107名
	20000円	4名			
	7000~		7 初節句の	3000円	84名
	8000円	2名	お祝い	2000円	99名
3 葬式	10000円	68名	8 百ヶ日の	止める	147名
	5000円	115名	すし配り	止めない	33名
	7000円	1名			
	3000円	2名			
4 初盆	3000円	63名			
	2000円	125名			

以上の様な結果が出ましたので多数沃により下記の様に決定しました。

1 結婚式	10000円
2 進水式	10000円
3 葬式	5000円
4 初盆	2000円
5 法事	3000円
6 御見舞	2000円
7 初節句	2000円
8 百ヶ日の	止める
すし配り	

② 3 (進水式葬式) については、実内を受ける人は、お祝又は線香代として2000円以内の金額が品物にする。

6、7 (御見舞、初節句のお祝) についてはお返しをしない。

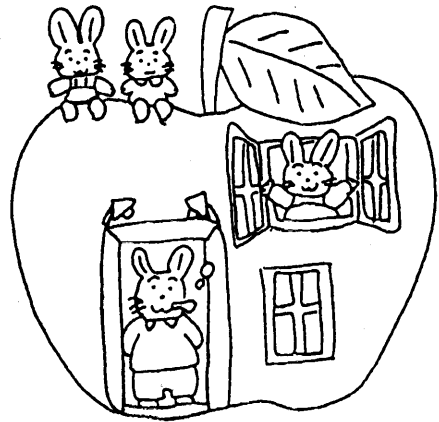
8 (百ヶ日) については、家族や親戚、近所だけのお茶飲み程度とする。

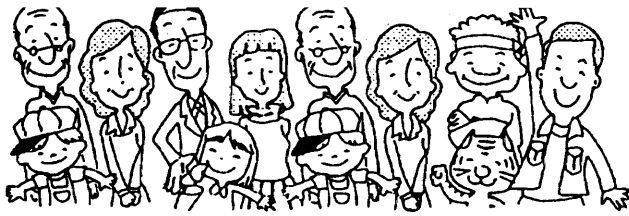
以上の事は親、兄弟は別とする。

この事を16日の定例会以降、強かに進めて参りたいと思っておりますので、積極的な御協力を、お願い致します。

発行者 富島退協婦人部

みんな  
で  
守ろうね





りょう  
亮くん  
(2歳)

いろんな言葉を覚えたね。毎日がとっても楽しいよ。これからも元気で素直に育ってね。



(切島山?)  
野別 秀二・恵美子さん家  
のわんぱくくん

## 日向の わんぱく おてんばちゃん

(美砂)  
河埜利克・里砂さん家の  
おてんばちゃん



みずき  
泉紀ちゃん  
(1歳5ヵ月)

外が大好きで、一日中でも遊んでしまおう。みずきちゃん。女の子らしく優しい子に育ってね。

## がんばらちよるヨ

富島漁協婦人部

(134)

富島漁協に勤務の主婦を中心に、細島地域の女性など約250人で組織する富島漁協婦人部です。昭和31年ごろの発足で、40年の歴史があります。

私たちは、漁業に従事するかたわら、環境保全や子どもの健全育成、郷土料理の継承・開発などの活動を行いながら、地域の和を深めています。

また、近年派手になる冠婚葬祭費の簡素化も活動の一環として取り組んでいます。例えば、結婚式は10000円、葬式は5000円、法事は3000円、お見舞いは2000円などです。あなたの地域でも考えてみませんか。

私たちは、これからも笑顔を絶やさず、仲良く活動していきたいと思っています。

そこで、私は、今月号から濰坊市の近くにある一つの有名な山「崂山」「泰山」と孔子の生誕地である「曲阜」を皆様にご紹介しましょう。もちろん、皆様が濰坊市を訪問される際に、もし興味があればご案内することができます。それでは、まず今月は「崂山」を紹介いたします。

中国山東省の東海岸、濰坊市から東へ百七十キロのところにある青島市があります。青島市は町並み風景が美しく、気候が温暖なところから保養所また観光地として多くの内外人が訪れる町です。崂山は青島市の中心部から約四〇キロのところにあります。南側と東側は海に臨み、主峰は一一三三メートル。山積は三八六メートル。



濰坊市を訪問された皆様はよくご存じだと思いますが、濰坊市内には観光地や名勝がそれほど多くありません。それに前任の国際交流員の劉偉地さんは、濰坊市の十笏園や風箏(凧)博物館などを「広報ひゅうが」を通じて皆様に紹介したことを思います。

友誼  
ユウイ

ます。峭峰。いう。な風。ます。帝。伝。

# ひゅうが

1999(平成11)年 10月号 No.533

### 今月の主な内容

- ◎特集・日向市防災アセスメントの公表...2P
- ◆シリーズ介護保険3 ◆市政の動き(第35回日向市総合文化祭、美々津手漉き和紙を無形文化財に指定)...6P
- ◆まちの話題(おききよ祭りほか)...10P
- ◆お知らせ...

海難遺児募金過去実績  
 (お返し廃止募金)

年度	件数	金額(円)
平成元年	47	175,584
2年	55	247,866
3年	42	167,000
4年	34	114,000
5年	31	155,010
6年	44	214,173
7年	37	172,115
8年	26	117,232
9年	24	96,670
10年	23	326,708
累計	363	1,786,358

# 冠婚葬祭を簡素化

## 富島漁協婦人部 生活設計シンポで



富島漁協婦人部の生活設計シンポジウム

富島漁業協同組合婦人部主催の生活設計シンポジウムは二十七日、同協同組合であった。冠婚葬祭などに関する無駄と見えをなくし、心にゆとりのある暮らしを目指すと狙い。

同婦人部は八年度から県貯蓄推進委員会の貯蓄推進普及地区に指定されており、十年度はその最終年にあたることから、あらためて地域における冠婚葬祭のあり方を考えた。

婦人部の本格的な活動は指定を受ける前の六年度から始まっており、主に交際費拡大のための冠婚葬祭の簡素化「見えや無駄を省いたお返し」の二つに重点をおいてきた。このうち冠婚葬祭時の金額については▽結婚式、進水式、葬式は一万円▽法事は三千

### 宮崎日日新聞(11.3.30)



富島漁協婦人部がそりいの柔道着で披露した踊り「柔」

円▽初盆、初節句、お見舞いは三千円▽百カ日のすし配りはやめること定めている。

パネルティスカッションは、豊後喜喜富島漁協組合

理事、今村昭夫細島庄手向区長、河野マチ子細島地域婦人会副会長、三輪幸広細島小学校PTA会長、児玉キクエ富島漁協婦人部員、田中加代子同部員の六人が

登壇。大会字貯蓄生活報「さる異口同音に訴えた。計一般推進員がコーディネートを務め、これがその冠婚葬祭のあり方についてをテーマに話し合い、決まり事を守ることを大切

また、県貯蓄推進委員会から同婦人部に対して貯蓄生活設計表彰があり、島田元子部長が代表で記念品などを受け取った。

## 簡素化運動の成果報告

### 富島漁協 踊りやバザーも

無駄と見えをなくす簡素化運動に取り組んでいる日南市・富島漁協婦人部(島田元子部長)は二十七日、同漁協で生活設計シンポジウムを開いた。

同漁協婦人部を中心とする細島地区は、九六年度から三年間、県貯蓄推進委員会の貯蓄生活設計普及地区指定を受け、①冠婚葬祭の簡素化のお返しの積極的な廃止運動を重点に簡素化運動を展開した。組合員からアンケートを回収、結婚式、進水式の祝儀は一万円、葬儀は五千円など、地区内で金額を取り決め、順守を呼びかけてきた。

会では細島地区独特の習慣で、香典をもらった人全員に返礼する「百カ日のすし配り」は、ほぼ百パーセントの達成率で簡素化されたことを報告。

同婦人部に影響を受けた細島・清正区の婦人団体「つき会」は祝儀袋に「簡素化運動推進中」の断り書きを添えて「見えや無駄を省

いてきた」と活動を報告。簡素化運動が地域内に広がった成果を示した。昼食時には同婦人部が踊りを披露。魚介類などを提供するバザーも開いた。

富島漁協婦人部がそりいの柔道着で披露した踊り「柔」